

令和7年度 事業計画書

1 第20回大分県障がい者スポーツ大会開催事業(県委託事業)[別冊 P1]

- (1) 県障がい者スポーツ協会主管個人競技(5競技)
 - ・ 卓球、サウンドテーブルテニス(身・知・精)、ボッチャ(身)、陸上競技(身・知・精)
フライングディスク(身・知・精)、水泳(身・知・精)
- (2) 各障がい者スポーツ団体主催・主管競技
 - ・ アーチェリー(身)
 - ・ ボウリング(身・知・精)
 - ・ 団体競技(8競技):4月～県内各地で開催(サッカー、車いすバスケットボール等)

2 第24回全国障害者スポーツ大会派遣事業(県委託事業)[別冊 P2]

- ・ 第24回全国障害者スポーツ大会「わた SHIGA 輝く障スポ2025」[10月25日(土)～27日(月)]に、個人競技選手28人(身体14人・知的12人・精神2人)、役員23人、計51人の選手団を派遣予定
- ・ 団体競技については、九州ブロック予選で優勝したチームを派遣予定

3 第44回大分国際車いすマラソン開催事業(県委託事業)[別冊 P3～4]

- ・ 3/26(水)の実行委員会にて開催日を公表予定

4 地域における持続的なスポーツ環境構築事業(福祉医療機構助成)※事業申請中[別冊 P5]

- ・ 競技団体や地域の通いの場など、地域資源を3つに分類。各々へのアプローチにより、持続的なスポーツ環境を構築

5 世界に羽ばたくアスリートの強化事業(県補助事業)[別冊 P6]

- ・ 世界で活躍している選手及び今後世界で活躍が期待される選手の経済的負担を軽減し、国際大会の出場機会を増やすことを目的に、国際大会遠征費を補助

6 障がい者スポーツサポーター養成・活用事業(自主事業)[別冊 P6]

- ・ 車いすマラソンや県障がい者スポーツ大会等障がい者スポーツに関するボランティア活動を行いたい県民を対象に「障がい者スポーツサポーター」養成講習会を開催し、当該サポーターが活動できる障がい者スポーツ体験会等を県内各地で開催

7 公認初級パラスポーツ指導員養成事業(JPSA委託事業)※事業申請中[別冊 P7]

- ・ 障がい者スポーツに関わる専門的な人材の確保・育成を目的に、(公財)日本パラスポーツ協会公認の初級パラスポーツ指導員を養成

8 障がい者スポーツ団体活動支援事業(県補助事業)[別冊 P8]

- ・ 県大会開催に係る経費や九州大会への参加経費、所属選手を対象とする練習など、団体が行う活動に対する経費を助成
 - 助成予定： 県大会開催 19団体
 - 九州大会参加 20団体
 - 地域活動支援(練習会等) 25団体
- ・ 障がい者スポーツは特殊かつ高額な用具を使用することから、令和7年度も各競技団体に対し、障がい者スポーツ用具整備に係る助成制度を継続し、各競技団体の取組を支援(補助上限額:150千円×2団体)

- 9 サントリーチャレンジド・スポーツ アスリート奨励金事業(サントリー助成金)[別冊 P9]
- ・ 地域におけるチャレンジド・スポーツ(パラスポーツ)の普及拡大・環境整備を目的として、チャレンジド・スポーツの未来を担う若手アスリートと各協会・競技団体等に対して奨励金を給付
- 10 表彰事業(自主事業)
- ・ 障がい者スポーツの功労者及び前年度に活躍した選手を表彰
- 11 広報事業(自主事業)
- ・ 協会ホームページにより障がい者スポーツ情報を広く発信するとともに、広報誌「障スポにゅ〜す」を年3回(6月、10月、2月)発行
- 12 障がい者スポーツ体験会・講演会実施事業(自主事業)
- ・ 障がい当事者を対象とする体験会やアスリート講演会を開催し、障がい者スポーツの普及を推進